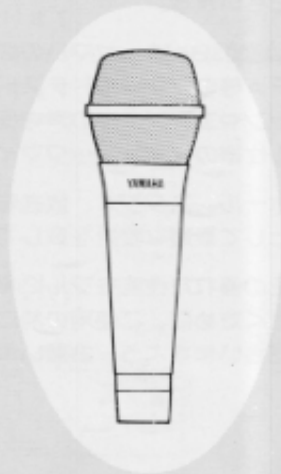


YAMAHA

PROFESSIONAL SERIES
DYNAMIC MICROPHONE

MZ103Be

取扱説明書



このたびは、ヤマハ プロフェッショナルマイクロフォン MZ103Beをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

MZ103Beは、ヤマハの数々のスタジオやコンサート活動、PA等のフィールドテストを重ねた結果、多くのミュージシャンやエンジニアの声を反映して生まれたプロフェッショナル仕様のダイナミックマイクロフォンです。

ホール、スタジオ、放送局、ステージなどで特にボーカル用として最適な設計を致してあります。

その優れた性能をフルに発揮させると共に末永くお使いいただくために、ご使用前にぜひ、この取扱説明書をお読みくださいますよう、お願い申し上げます。

目 次

特長	2
取扱い上の注意	3
接続ケーブル	3
各部の名称と寸法	4
周波数特性及び指向特性	5
仕様	6
サービスについて	7

特 長

●音質の優れた新開発ユニット

音質を左右するユニットの振動板には、世界初の三重積層ベリリウム振動板を採用。

かぶりの極めて少ないウェルバランスのナチュラルサウンドを実現しました。

またデジタル時代に対応するワイドな周波数レンジと優れた過渡応答特性も実現しております。

●耐久性に優れた設計

マイク本来の性能、耐久性、信頼性を向上すべく、シンプルに徹した設計を致してあります。

耐衝撃強度の大きな新開発金網は、ヤマハのピアノ線の技術を取り入れ、ボディも強固な構造を持たせております。

また、新開発のシルク印刷製版法による音響抵抗体は、音質、電気性能の経時的安定性に極めて優れております。

●タッチノイズ、ポップノイズの小さな新開発構造

新開発のオリジナル防振構造により、音のにごりやノイズの少ない快適な音質でご使用頂けます。

また、この構造により外部ショックからユニットが保護され信頼性が極めて高くなっております。

—— ヤマハ マイクロフォン各モデルの特徴 ——

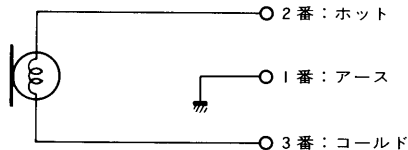
品 番	特 徴	主な用途
MZ101	● 誇張のないナチュラルサウンド ● しまりのある中低音と明瞭な高音	ボーカル
MZ102Be	● レンジの広いナチュラルサウンド ● ヌケの良い量感ある中低音	ボーカル
MZ103Be	● バランスのとれたナチュラルサウンド ● 重厚なボーカル音 ● ハウリングに特に強い	ボーカル
MZ104	● 周波数レンジが特に広い ● 極めて自然な音質 ● セッティングが容易	楽 器 (ドラム、管楽器等)
MZ105Be	● 近接効果を強めた設計 ● 音のハリ出しが強い ● 音抜けが特に良好	楽 器 (パーカッション等)

取扱い上の注意

- マイクロフォンの内部は精密な部品で構成されておりますのでむやみに風防金網をはずしたり、ユニット部（音変換器）に手を触れたり、力を加えるのは御避けください。
- 本品の許容保存温度は -20°C ～ 60°C です。
- お手入れは、柔らかい布などで乾拭きするようにし、シンナー系の液体やスプレー類は絶対ご使用にならないでください。

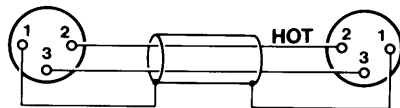
接続ケーブル

- 本モデルの電氣的出力部のピンNo.は下図のようになっています。

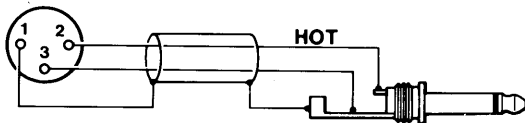


- マイクロフォン本体出力部のコネクタはプロ用オーディオコネクタ (XLR-3-12CまたはA3Fタイプ) の付いたものをご使用ください。
- ケーブル芯線とコネクタ及びプラグの結線が下図のようなケーブルをご使用ください。

● 機器側がプロ用オーディオコネクタの場合

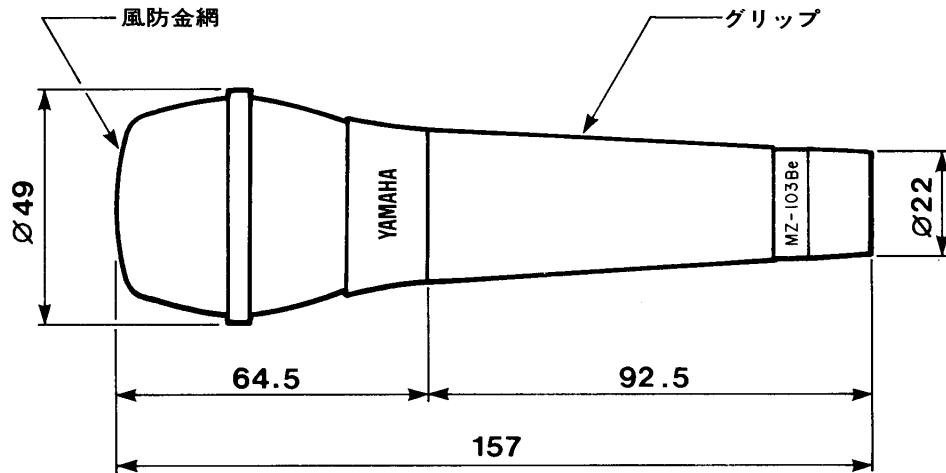


● 機器側がホーンプラグの場合



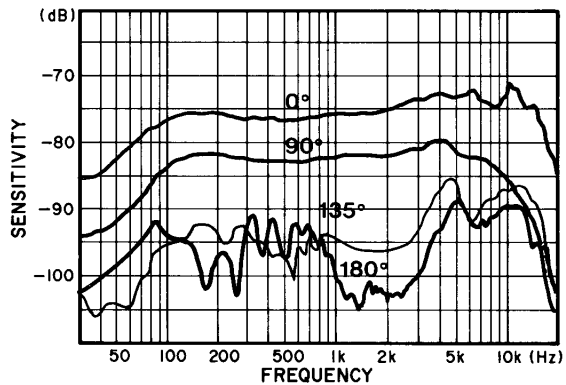
- ホットとコールドの接続を逆にし、複数のマイクロフォンをご使用になられますと、各マイクロフォンの極性が逆転し音質の変化、音像の不明確等が生じますのでご注意ください。

各部の名称と寸法

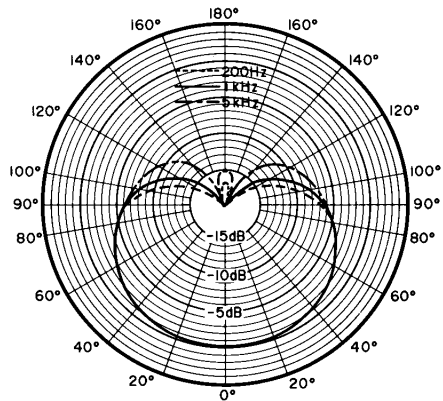


周波数特性及び指向特性

周波数特性(50 cm)



標準指向特性



仕様

形式……………ダイナミック型(ムービングコイル型)

指向特性……………単一指向性

出力コネクタ……………プロ用オーディオコネクタ
(XLR-3-12CまたはA3Fタイプ)

外形寸法…………… $\phi 49 \times 157\text{mm}$

重量……………280 g

周波数特性……………40Hz～18000Hz

出力インピーダンス……250 Ω (平衡)

正面感度…………… $-75.5\text{dB}/\mu\text{Bar}$ (1kHz)

仕上げ処理……………メタリックグレー色塗装

付属品……………1) マイクホルダーMCH-2
(スタンド取付けネジ5/8", アダプ
ターネジ3/8", 5/16" 一体品)

2) 収納ケース

●本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますが、ご了承ください。

サービスについて

■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にがんずるご質問・ご相談・あるいはアフターサービスについてのお問い合わせは下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

■保証書

本機には保証書がついています。販売店で渡していますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、本機の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店がお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■調整・故障の修理

「故障かな？」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのとも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

●お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

〈音響システム事業部営業部〉

東京営業所	☎03-3255-1825	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 藤名館ビル4F
大阪営業所	☎06-647-8359	〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 藤名館ビル2F
名古屋営業所	☎052-232-5744	〒460	名古屋市中区錦1-18-28
九州営業所	☎092-472-2131	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社 国内営業課	☎053-460-2455	〒430	浜松市中区中町10-1

〈国内営業統括本部〉

北海道支店 LM営業課	☎011-512-6113	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台支店 LM営業課	☎022-222-6146	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10
広島支店 LM営業課	☎082-244-3749	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預り窓口

北海道サービスセンター	☎011-513-5036	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスセンター	☎022-236-0249	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台前商共同配送センター3F
新潟サービスセンター	☎025-243-4321	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーポウルビル2F
東京サービスセンター	☎03-3255-2241	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 藤名館ビル4F
首都圏サービスセンター	☎044-434-3100	〒211	川崎市中原区本町1184
浜松サービスセンター	☎053-465-6711	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ/麻宮竹工場内
名古屋サービスセンター	☎052-652-2230	〒454	名古屋市中区玉川町2-1-2 ヤマハ/麻宮竹工場3F
大阪サービスセンター	☎06-877-5262	〒565	吹田市新善見下1-16 ヤマハ/柳千丘センター内
四国サービスセンター	☎0878-22-3045	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ/柳高松店内
広島サービスセンター	☎082-874-3787	〒731-01	広島市安佐南区西原2-27-39
九州サービスセンター	☎092-472-2134	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/カスタマーサービス部	☎053-465-1158	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ/麻宮竹工場内

*1992年11月20日現在

*所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社

●音響システム事業部 営業部 ☎053-460-2455
〒430 浜松市中区中町10-1

LMZ103・VD73261  